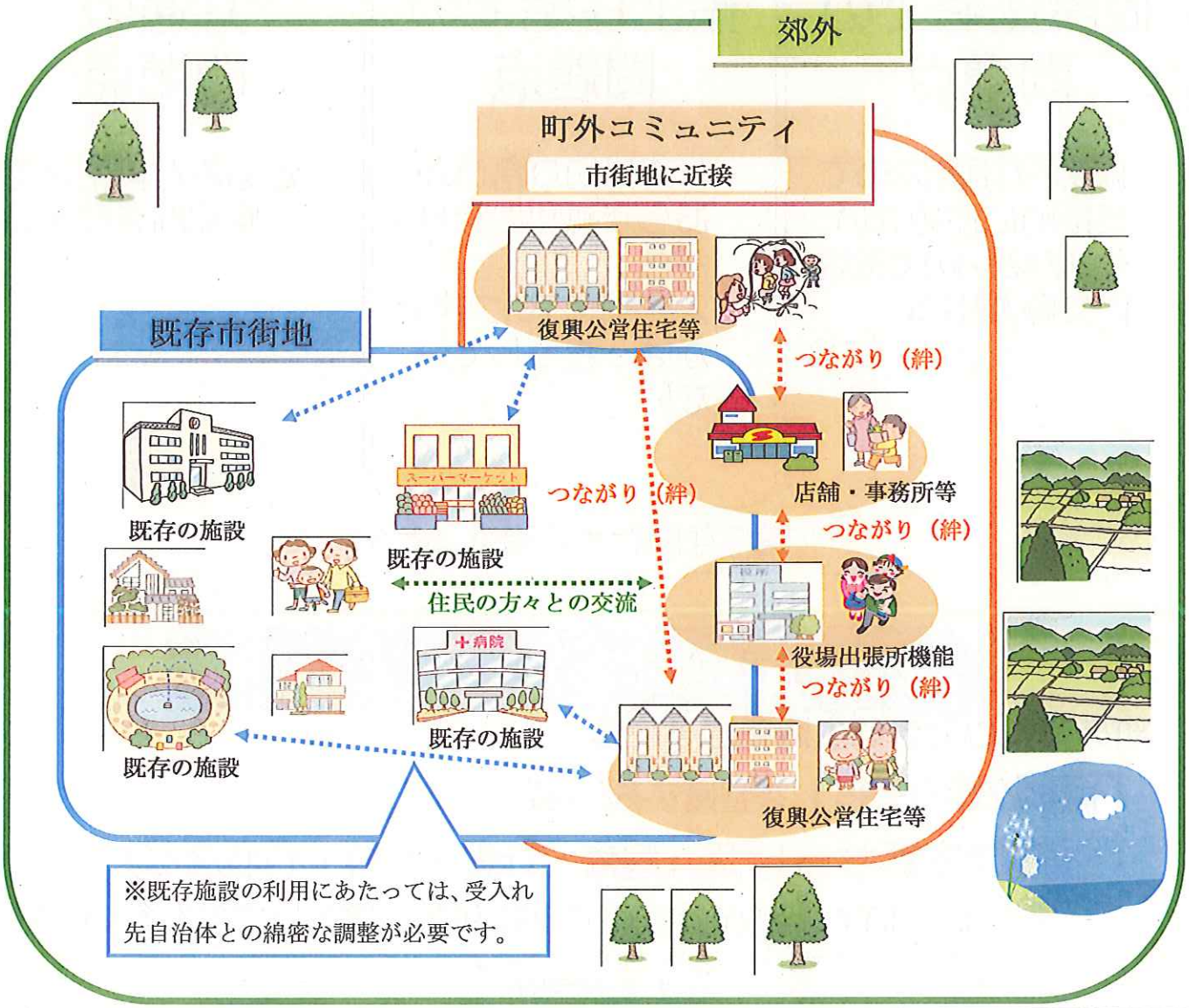
# 町外コミュニティについて

参考資料１

## 復興計画記載の町外コミュニティのイメージ

安心して暮らす環境を確保するため、国・県・関係自治体との協議も踏まえながら、以下のイメージによる復興公営住宅を中心とした町外コミュニティの整備を進めていきます。




現段階で検討している「町外コミュニティ」は、以下のような考えです。

- 想定エリア：市街地に近接し、公共サービスや商業サービスが受けられるエリア
- 構　　成：復興公営住宅を中心に役場出張所機能や店舗・事務所等で構成
- 住宅の質：復興公営住宅は仮設住宅の約３倍の居住面積や遮音性、断熱性などを確保
- コミュニティ：公民館的な交流施設を確保、エリア内での交流を図ることで絆を維持
- 規　　模：設置場所や町民の希望等にもよりますが、希望される多くの方の集住を想定
- 市民交流：受入れ先自治体と丁寧に協議することで居住先の市民の方々とも共栄
- 箇所数：他の自治体とも連携して設置しますが、現段階では３箇所程度を想定
- 事業再開：町内事業者が町外コミュニティにおいて事業再開ができる環境を整備

## 町が整備を進めている「町外コミュニティ」の考え方

現在の避難期間中の住環境には、それぞれに問題点があります

### 仮設住宅での問題点

- 応急的な住居なので長期的に住めない
- 住居が狭いので生活に支障が出る

など

### 借上住宅での問題点

- 付近に知り合いがおらず孤独になりがち
- 入居期限がいつまでかはっきりしていない

など

### 共通の問題点

- ふるさと再生まで一定期間を要する

様々な問題を改善するため

### ≪町外コミュニティ≫

町外で安心できる生活を送るため

**「復興公営住宅」**を整備すると共に

**「必要な生活サービス（医療・介護・学校・行政など）」**

について、既存の施設で支障がある場合に整備を行います

整備場所

南相馬市　いわき市　二本松市　の3市に整備

※これまでに実施したアンケートの結果や役場仮設庁舎の所在地などから選定しました。
現状の分散避難の傾向から浪江町民が集まって暮らせる環境づくりのため、整備先を3市として進めています。

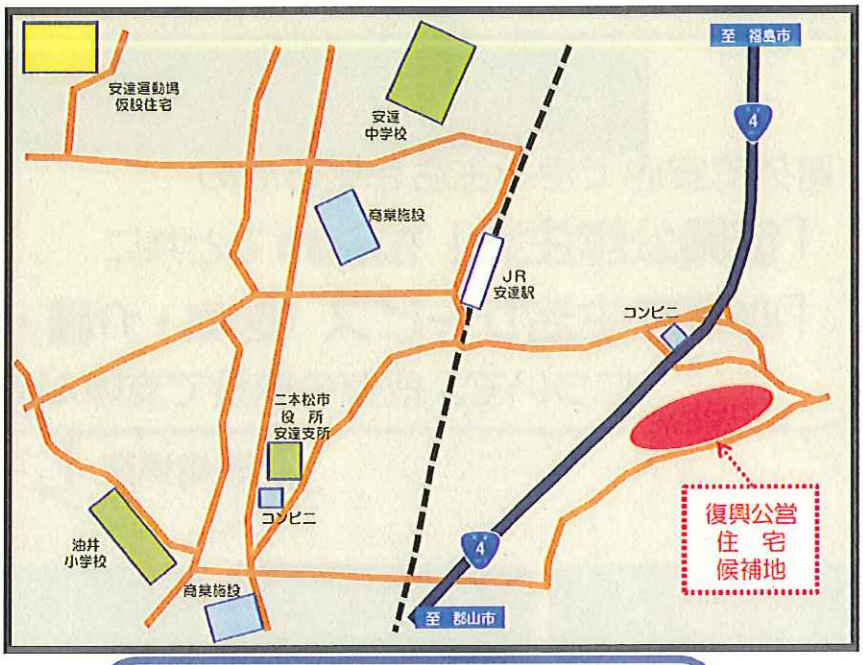
# 「町外コミュニティ」の整備に向けた進捗状況

| | |
|---|---|
| 南相馬市 | ≪候補地２カ所に選定≫<br>・候補地を2カ所に選定し用地交渉など具体的な調整を行う段階です。<br>・今後、候補地の調整が進み、お示しできる情報があり次第お知らせします。 |
| いわき市 | ≪整備に向けた協議を開始≫<br>・具体的な協議を開始した段階です。<br>・復興公営住宅は複数個所に分散して整備する予定です。<br>・生活サービスは、基本的に既存の施設を有効活用し、必要があれば既存の施設を拡充・強化する予定です。<br>・お示しできる情報があり次第お知らせします。 |
| 二本松市 | ≪候補地が決定≫<br>・候補地が決定している段階です。<br>・平成27年度の入居を予定しております。<br>・今回の住民意向調査の結果から整備戸数を把握し、具体的な整備を進めていきます。<br>・整備のイメージなどが示された際にはお知らせします。 |

## 福島県の復興公営住宅　整備候補地（二本松市）

### ≪候補地≫

- 二本松市油井字根柄山地内
- 面積40,000㎡
- 当初分で70戸の整備を予定
  **※住民意向調査の結果により整備戸数を見直します。**
- 平成27年度中に入居開始予定




### ≪周辺情報≫

- 安達駅まで約1.4km
- 浪江小学校まで約5.8km
- 浪江中学校まで約12km
- 大型商業施設まで約1.5km

# 復興公営住宅について

## ≪復興公営住宅とは≫

・復興公営住宅とは、原子力災害により避難指示を受けている方が入居できる公営住宅です。
（募集の時点で、現に避難指示が出ている区域に、平成23年3月11日現在居住していた方が対象となります。）

## ≪コミュニティの拠点≫

・復興公営住宅は、避難されている方々のコミュニティの維持･形成の拠点となるもので、平成27年度までの入居を目指し整備します。
・入居に当たっては、市町村単位や親族同士、仮設住宅等で築かれたグループでの入居に配慮します。
また、高齢者、障がい者、子育て世帯等の入居に配慮します。
・コミュニティ集会室等を拠点に、入居者同士や地域にお住まいの近隣住民の方々との交流を図ります。

## ≪整備戸数・整備予定地域≫

・全体で概ね3,700戸を平成27年度までの入居を目指し整備します。
（戸数については、現時点での戸数であり、住民意向調査結果等を参考に見直していきます。）
・現時点での主な整備予定地域は以下の市町村となりますが、今後の国、県及び関係自治体との協議において決定していきます。

（単位：戸）

| いわき市 | 南相馬市 | 郡山市 | 福島市 | 会津若松市 | その他<br>（二本松市・桑折町など） | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 概ね<br>1,800 | 概ね<br>410 | 概ね<br>390 | 概ね<br>170 | 概ね<br>100 | 概ね<br>830 | 概ね<br>3,700 |

## ≪第1期分（500戸）の整備予定地域≫

- 第1期分は、いわき市、郡山市、会津若松市において合計５００戸の建設を進めています。
- 第1期分は、平成26年中に入居開始予定です。
- 構造は、鉄筋コンクリート造（3～5階建）の集合住宅となります。

| 自治体名 | 整備場所 | 戸数 | 整備場所 | 戸数 |
|---|---|---|---|---|
| いわき市 | 小名浜地区 | 200戸 | 常磐地区 | 50戸 |
| 郡山市 | 喜久田町地区 | 50戸 | 富田町地区 | 40戸 |
| | 安積町地区 | 30戸 | 日和田町地区 | 20戸 |
| | 富久山町地区 | 20戸 | | |
| 会津若松市 | 門田町地区 | 70戸 | 古川町地区 | 20戸 |
| 合計 | 500戸 | | | |

## ≪第2期分（1,000戸）の整備予定地域≫

- 第2期分のうち、現在判明している整備予定地は、福島市、郡山市、二本松市に、県営の復興公営住宅を合計245戸整備します。
- 平成27年度までの入居を目指し整備します。

| 自治体名 | 整備場所 | 戸数 | 整備場所 | 戸数 |
|---|---|---|---|---|
| 福島市 | 鎌田地区 | 24戸 | 笹谷地区 | 24戸 |
| 郡山市 | 喜久田地区 | 15戸 | 富久山地区 | 40戸 |
| | 富田町地区 | 72戸 | | |
| 二本松市 | 油井地区 | 70戸 | | |
| 合計 | 245戸 | | | |

## ≪復興公営住宅の基本的な構造≫

### 集合住宅（鉄筋コンクリートのマンション形式）

※早期に相当数の戸数を整備するため、基本的に集合住宅となります。

【福島県営の復興公営住宅イメージ図（県情報）】

## ≪復興公営住宅の特徴≫

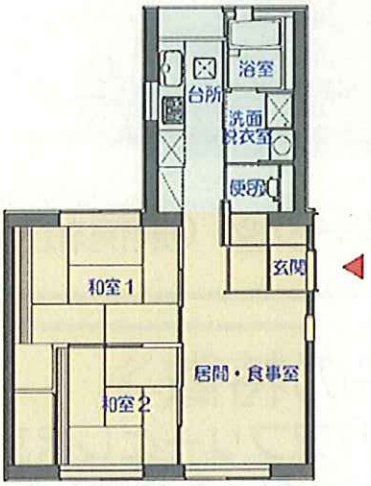
- 玄関から居室内まで、段差のないバリアフリーとします。
- 3階建て以上の建物には、全てエレベーターを整備します。
- 太陽光発電設備を設置するとともに、エネルギー効率のよい住宅を整備します。
- 地域の気候に配慮し、特に会津地方では、サンルームを設置します。

※　居室内も段差のないバリアフリー構造とします。
※　防音にも配慮します。

## ≪間取り（案）≫

“２ＬＤＫ”と“３ＬＤＫ”を基本とした間取りとなります

２ＬＤＫ　65㎡




３ＬＤＫ　75㎡

※上記面積には、サンルーム（ベランダ）の5㎡を含みます。
状況により、サンルーム（ベランダ）が付かない場合があります。

## ≪復興公営住宅と仮設住宅の間取り比較≫

| 復興公営住宅 | ２ＬＤＫ 65㎡ | ３ＬＤＫ 75㎡ |
|---|---|---|

| （参考）仮設住宅 | ２ＤＫ　30㎡ | ３Ｋ　40㎡ |
|---|---|---|

約2倍